

地域高規格道路 松本系魚川連絡道路

大町市街地区間

～複数のルート帯案と評価項目の設定～

概要版

1 松本系魚川連絡道路の目的

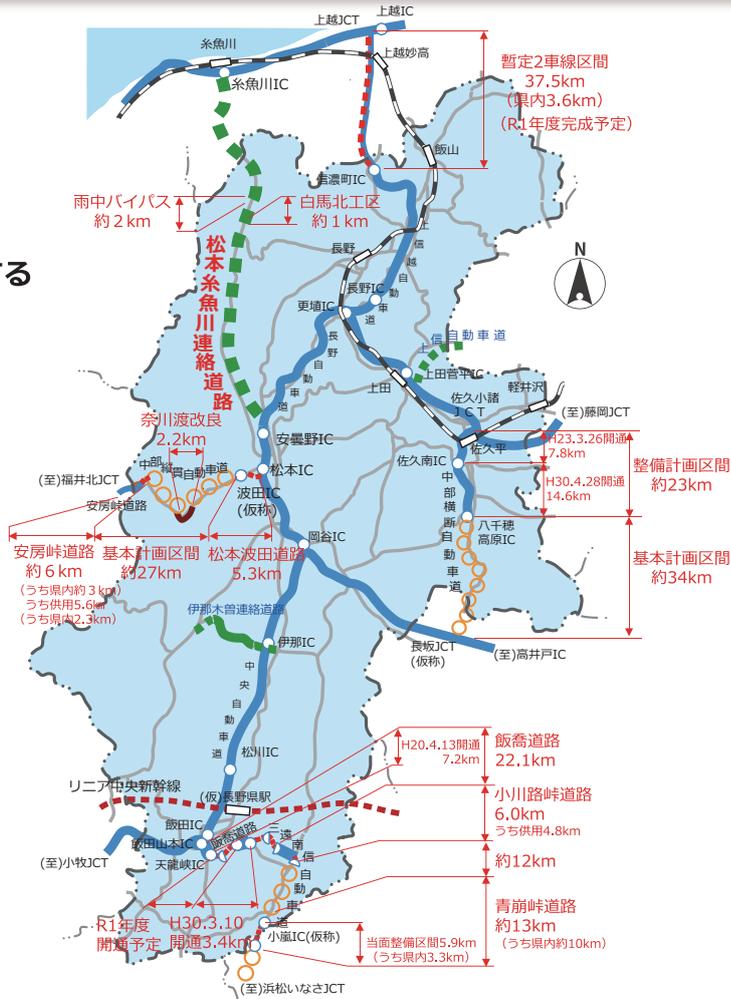
高速交通網の空白地域となっている大北地域に、松本系魚川連絡道路を整備することにより県土の均衡ある発展を実現します。

高速道路のネットワークを補完する

- 長野自動車道と北陸自動車道を連結
- 松本市と新潟県糸魚川市を結ぶ全長約 100km (うち県内約 80km)

地域間を連結し、物資の流通、人の交流を活性化する

- 高速性、定時性、安全性、代替性、強靱性の確保

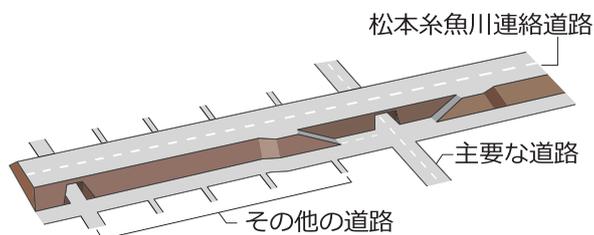


地域高規格道路とは…

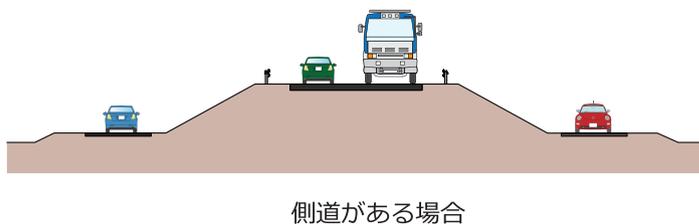
- 高規格幹線道路（高速道路）を補完する役割
- 概ね 60km/h 以上のサービス速度※を確保

(※サービス速度：信号や渋滞等も含めた実際の平均走行速度)

【地域高規格道路の構造のイメージ】

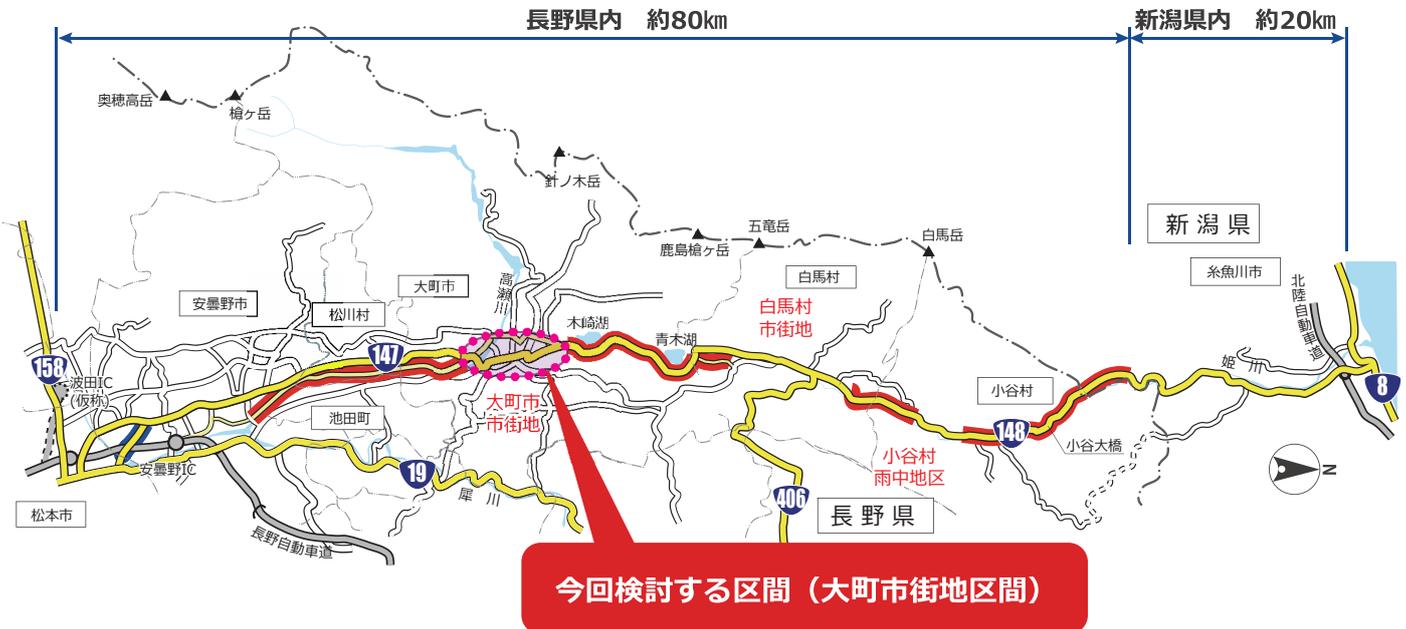


【盛土構造のイメージ】



2 松本系魚川連絡道路の概要

- 松本市～糸魚川市間の延長約 100 km を結ぶ交流促進型の道路
- 松本～大町～糸魚川の生活圏を連絡し、広域的な交流、連携に資する



3 概略計画の進め方

国土交通省が推奨する「構想段階における道路計画策定プロセスガイドライン」に準じ、段階毎に地域の皆様と意見を交わしながら進めてまいります。

STEP 1・2 「検討の進め方と課題の共有等」

H30.2～12

STEP3「複数のルート帯案と評価項目の設定」

今回

STEP4「複数案の比較評価」

今後

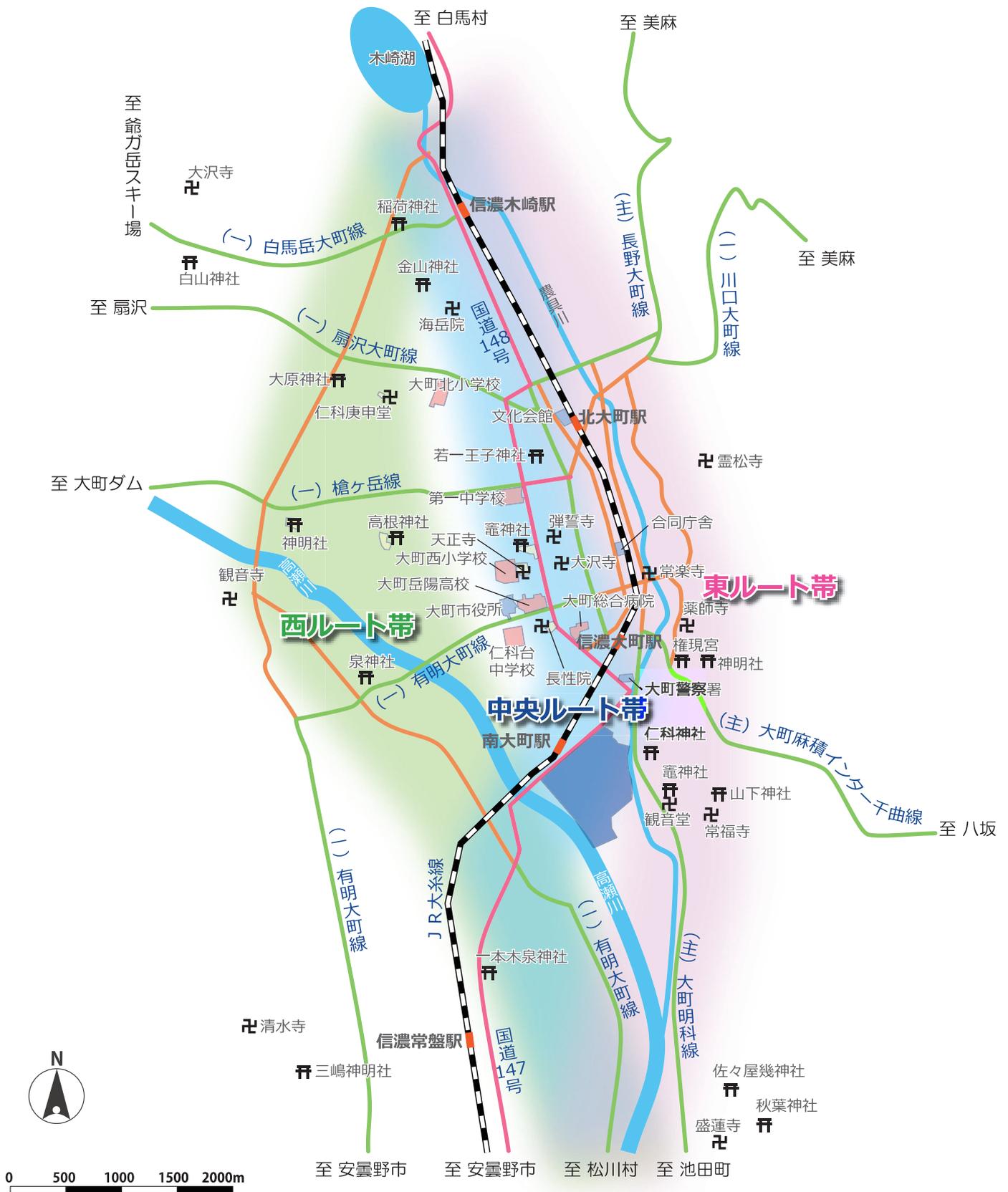
STEP5「最適ルート帯案の発表」

最適ルート帯内で細かいルート帯に絞る

概略計画の決定

4 複数のルート帯案の設定

起点を高瀬川右岸道路の北端部周辺、終点を木崎湖トンネル周辺とし、3つのルート帯案を設定しました。



西ルート帯：高瀬上橋より北側で高瀬川を横断し、市街地の西側を通過するルート

中央ルート帯：現国道 147 号の 4 車線区間を活用するルート

東ルート帯：市街地南側に位置する工業地帯より南側で高瀬川を横断し、市街地の東側を通過するルート

5 評価項目案の設定

ルート帯案の選定の評価項目案を設定しました。今後、これらの評価項目案により各ルート帯案を比較評価し、最適なルート帯案を選定します。

■評価項目案

	評価項目案	評価の視点
道路の計画の目標	災害に強い道路	土石流、地すべり危険個所の回避、地震時の影響、浸水想定区域の回避、道路が被災した際の復旧のしやすさ、災害時の代替機能
	交通の円滑化	交通容量の増加、現道の交通混雑の緩和、国道の旅行速度の向上、交通事故の減少、走行性の向上
	地域の活性化 (産業・観光)	高速道路 I C までのアクセス性、定時制、市街地、集落の分断 中心市街地、観光地へのアクセス性、道の駅設置の容易性、物流の効率化
	安全な暮らしの確保	高次救急医療機関への速達性、住環境への影響(騒音・振動等)
	環境・景観の保全	土地利用(市街地、農振農用地)、景観への影響、道路からの眺望 文化財、自然環境(動物、植物、生態系)への影響
事業の評価	経済性	事業費、維持管理費
	施工性	国道、J R、河川への影響、用地確保の実現性
	効果の早期発現	部分供用の実現性

本資料は、「地域高規格道路 松本系魚川連絡道路 大町市街地区間
～複数案のルート帯案と評価項目の設定～」の概要版です。

詳細資料は、大町建設事務所整備・建築課または大町市役所建設課で配布しています。
大町建設事務所ホームページからもダウンロードできます。

大町建 松本系魚川連絡道路



長野県大町建設事務所 整備・建築課 計画調査係

〒398-8602 大町市大町 1058-2 大町合同庁舎

電話 0261(23)6534 ファックス 0261(23)6532

e-mail : omachiken-matsuito@pref.nagano. l g.jp



長野県 PR キャラクター
「アルクマ」